

JWAF journal

日本勤労者山岳連盟

2023 4

日本勤労者山岳連盟 Japan Workers' Alpine Federation

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5番24

TEL: 03-3260-6331 FAX: 03-3235-4324

Mail: jwaf@jwaf.jp

発行責任者/川嶋高志 発行年月/2023年4月



戸倉山

「白池と頸城山塊」

険しい頸城の山々に囲まれた糸魚川にあって、戸倉山は気軽に楽しめる山として愛されている。その理由は、ブナ林に囲まれた白池を巡る景観の素晴らしさだろう。春夏秋冬、登山者はここで立ち止まりパチリとやらないと気が済まないだろう。

(羽鳥勇・十日町おだまき山の会/新潟)

INDEX

2~4..... 第35期第1回評議会の報告③(地方連盟の活動/後編)

5..... 部局・専門委員会の活動、3月の事故一報一覧

6~7..... 3月の労山基金交付一覧

8..... 全国連盟の活動、各種ご案内

「平和と自然がとても大切、今こそ山へ！」

第35期第1回評議会 地方連盟からの活動報告(後編)

評議会(2023年2月18・19日/東京)の特集も今回で最終回です。登山学校や子どもの冒険学校、登山道整備や筋力トレーニングの連続講習…各地で多彩にとりくまれた地方連盟の活動や平和を願う発言をご紹介します。

■愛知県連/佐藤和男・評議員

温暖化の影響で11月に鈴鹿に雪が無く、12月でも八ヶ岳に雪が無い。冬山合宿本番でいきなり雪山になってしまう。冬山合宿が八ヶ岳に集中している。組織の活性化が遅れ、会の衰退につながっていくのを危惧している。コロナ禍でテント生活を新人に教えられていない。事故防止については遭難対策担当者会議で討議し、一般道でも危ない場所ではヘルメットを推奨している会がある。

■岐阜県連/長沢近房・評議員

2020年と2021年は集う活動が少なかったため、連盟費の減額を行った。県庁所在地の会は若い方が入って10名増え、他の会は一進一退。HPも再開し有効活用したい。会の中では20~40代も入会しているので期待したい。40代で入って20~30年間会活動にかかわり70代で退会する、そんなサイクルがあればよいのでは。一人一人の生活に合わせた活動ができればよい。県連救助隊も長く続けており、会員241名のうち40名程が隊員。年2回集まって訓練している。隊員以外の一般会員も参加OKとし、10月は32名が参加。この中から次の隊員を育てる。高齢者の会員が多く、転倒事故が多いのが悩み。石川全国遭難対策部長に中高年の登山について講演いただいた。高齢者の身近な事故である転倒について学びの場となり非常に好評だった。

■滋賀県連/友永芳和・評議員

一般対象に登山教室を開催した。HPに県連の行事を掲載し、参加者を募っている。一般対象で体験登山を実施し2名増加。地道な活動が増加につながる。昨年から通年での講習を開催しているが、クライミングの講師が足りない。今年はスタッフを育成する講習会を予定している。道迷いが多いので読図の講習会も予定している。自然保護については風力発電への関心が高まっており、現地視察や計画段階環境配慮書への意見提出、県環境影響評価審議会を傍聴するなど。滋賀県連では事務所を閉鎖しお金が余っているので会へ返還した。

■京都府連/坪山芳樹・評議員

コロナの影響を脱しつつあり、登山教室や公開山行も再開した。退会者が新規加入の数を上回り、減少傾向である。退会する方はやむを得ない事情がある一方、若い人の加入もある。加齢が主な理由で「もう歩けない」方が一定数いる。少しでも登れる期間が延びるよう各会で取り組んでいる。丹後山の会は定期的なトレーニング山行を4年続け、今年は19名の会員を増やした。①公開山行、②登山学校、③登山年齢を伸ばす取り組み、この3つで拡大を図る。京都北部の丹波地方は国定公園に指定された自然豊かな場所だが、北陸新幹線はここに経済効率の悪いトンネルを110キロ以上も通す予定をしている。利権がからんでいる。それを許しては次世代に自然を引き継げないので、反対活動を進めている。駅や登山口、登山口へ向かうバスターミナル、山頂の4箇所ですら署名活動にとりくみ、周知にも繋がった。当初は2023年着工予定だったが、見通しが立たない状態となっているので、今後も活動を継続する。今年の全国連盟自然保護委員会の方針にも入ったので、一緒に取り組んでいきたい。

■大阪府連/大見則親・評議員

シリアとトルコ地震にかかわる活動を労山も実施してほしい。1人100円の募金運動が世界に広がってロシア国民に共感得られれば、ウクライナ侵攻をやめてトルコを助けようと、平和と登山にもつながるのではと思う。府連は今年86名減った。減り方をよく見ると43名増・50名減なのだが、3つの会が脱退したことが大きい。府連の常任理事が所属している会が脱退している。常任理事が一人で頑張りすぎて、後継者を育てられていないので、対策をしたい。無所属の若い人を対象とした登山教室を開き、卒業後はスタッフとして技術を高め会活動に加わってもらい、将来を担うの人材になってもらうサイクルをつくりたい。この10年で登山学校がストップし、後継者が育てられなかったが、組織活動・安全教育・後継者育成を行っていく。成果がみえてくるのは10年度かもしれない。

ないが頑張りたい。四季を通じて「子どもの冒険学校」を十何年か開催し好評を得ている。その子どもたちが高校生・大学生と成長しており、大学生相当の会費無料化を全国連盟でも検討してほしい。組織拡大につながると思う。

■兵庫県連/大杖哲司・評議員

会員が 2000 名近くいるが半分は 70 才以上で、今後数年で会員が激減する恐れがあり、対策として筋力調査を行った。六甲山で登高力テストを行ったところ、60 歳以上の会員の 30%が5メッツ以下の(低山ハイキングでも心もとない)体力であることが判明した。その割合を会員に当てはめると 450 人になる。山本正嘉先生も筋力不足が事故の主要な原因の一つとの意見であった。5年間の事故統計をみると、転倒事故が多く、特に下り中が 3 分の2を占めている。反射機能の低下も要因の一つと思われる。反射機能は老化に伴い著しく低下していくが、筋トレは反射神経活性化に効果がある。筋トレすれば登山中も動作に余裕ができてケガの予防につながる。体力測定で筋力別に参加者を3クラスに分けて筋力トレーニングの講習を半年で5回開催(正しいフォームでできるように指導、到達に応じてトレーニング負荷をアップ)し、講習会の内容を Web 配信し、自宅で週2回のトレーニング実績を専用フォームからの送信を促したところ、90%以上の人が毎週トレーニングするようになった。受講生全員の筋力が上がり、男性は 13%、女性は 18%筋力アップした。女性の転倒件数が男性の2倍ほどあるのだが、この取り組みで女性の筋力が男性に近づいていってる。事故が減ることを期待している。参加者からは膝の痛みがなくなった、ポッカがラクになった、クライミングを始めた、などの報告を受けた。高齢でも長く登山を続けたいという方は多い。そういう人にもっと登山を続けてもらい、会員数の激減を押さえながら現役世代の会員を増やしていき

い。六甲山全山縦走も一般の参加者に登山教室を案内し、活動を進めていく。

■島根県連/尾添富美代・評議員

コロナ禍で島根も苦しんでいたが、昨年から復活傾向である。中国地方協議会の「ハイキング交流集会 in 三瓶」を島根県連主管で行い、「みな目をさましてもっとがんばろう!」となった。協議会のみなさんに感謝している。山本正嘉先生の講演会を島根でも行った。70代80代でもトレーニングすれば登安全に登山を続けられるという話を聞き、登山において「年齢で線を引かない」と考え方を変えた。県連も会も、指導においても運営においても、シニアが考え方を変えないと、若者の意見を受け入れられない。

■岡山県連/小林卓郎・評議員

昨年 36 名増えた理由は、一般の方を対象に登山教室を開催したこと。コロナで活動が難しい時でも昼夜各 30 名ずつ募集すると、60 名ずつ申し込みがあった。実技と座学を 5 回ずつ、修了山行を白山や立山で3日間行っている。40 名程度の入会につながった。既存会員の維持も大切だが、新しい会員を獲得する新陳代謝が大切。新しい人をいれないと、組織は衰退していく。人が増えないと財政に響いてくる。一般の人を獲得するには教室を開催し、広くPRすることが一番有効だと思う。全国連盟でも、本気で登山教室について考えてほしい。岡山県連の会員数は 800 名前後で推移し、昨年は県連盟費を下げた。2 年続けて下げる検討をしている。

■広島県連/安達忠雄・評議員

一般対象の「初級登山学校」を4年前から開催している。岡山県連を参考にして県連主催で 15 名を募集している。“登山の楽しさを伝えていく”を理念に、学校はハイキングだけど、受け皿としてつくった会で講習等を行い岩・沢・雪も体験できるようにしている。参加対象は 65 歳以下とし、応募は女性の 50~60 代

★評議会トピックス★ 「山岳安全対策ネットワーク協議会」が始動！安全に安心して登山を楽しむこと
環境整備として、山岳四団体が登山届共有システム「山と自然ネットワークコンパス」を運営します。現在 32 都道府県にて、43 の自治体・警察などの公的機関とのネットワークが結ばれています。



山岳安全対策ネットワーク協議会は
安全に安心して登山を楽しむ環境を整備します



公益社団法人日本山岳会 日本勤労者山岳連盟
公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会
公益社団法人日本山岳ガイド協会 山と自然ネットワークコンパス

(子育てがひと段落し親の介護はまだ始まらない世代)が新しいことにトライしたいと積極的。若い人は子育て等の事情がありあまり来られない。参加者の半分ほどが入会に繋がっている。広島は被爆地なのに、平和行進の参加者が年々少なくなっているのが気になっている。5月にはG7が広島で行われる。「平和と登山」に対して労山で何ができるか考え取り組みをすすめたい。山筋ゴーゴー体操のサポーター養成講座を行い、講座後の活動をどうしていくか、サポーターの自己研鑽と県連での普及が課題。

■山口県連/川辺淳二・評議員

2022 年度は全国ハイキング交流会の主管を初めて担った。最初は心配していたが、全国連盟が身近に感じられ、色々な人と交流できて良かった。昨年末の組織報告では会員減だったが、その後上回った。自会ではHP や友人紹介が主な理由で8名が加入した。去年からコロナの影響を脱していると感じる。この6-7 年で重大事故が2件あったので遭難時の発生対応マニュアルを策定し、各会に配布した。ヒヤリハット・事故報告集も作成し、事故の深掘りを皆で行っている。事故を繰り返さないために多面的な検証が大事だ。全国の事例を参考にしたいので、事故一報一覧から深掘りしたのを知りたい。大規模風力発電の建設計画地(金子みすずのふるさと)を視察し、反対運動をしていく。昨年の県連総会でロシアのウクライナ侵攻を抗議する決議をロシア大使館へ送った。

■香川県連/市原義博・評議員

平和と自然が大切である。今、平和がおびやかされている時代であり、平和について考えてほしい。県連では昨年より5名の会員増で、登山学校で新会員を迎えている。またHP やFacebook を頻繁に更新して会員を増やしている。11 月第 41回五色台グリーンハイキングは、第 34 回全国スポーツ祭典の行事として新日本スポーツ連盟と共催し開催した。

■愛媛県連/太田正博・評議員

各会のブログを見て入ってくる人が多い。安全対策講習会を年間6回開催している。愛媛県自然保護協会に加盟し、協会から費用が出ている登山道修復に力を入れている。国立公園は国の管理、国定公園は県の管理になっており、石鎚山系(国定公園)の登山道整備を毎年行い、9年目になる。土留め等を作り土砂の流出を防いでいる。また、協会内に生物多

様性推進協議会があり、鹿の獣害がひどいので対策を実施している。高齢化で存続が危ぶまれている会があるので、来年度はその対策に追われると思う。山に登れる環境をととのえ、安全登山を目指すのが県連の役割だと思っている。

■福岡県連/荒木辰彦・評議員

会員数は一時期 1,000 名を超えていたが現在は730 名。世代交代ができなくて、会が衰退している。県連としては理事会や評議会で「組織拡大が大事」といっているが、実施するのは各会で、一進一退あるが頑張っている。山のトイレ協議会等で県内の登山団体が集って連携をはかり、現在は垣根を越えて活動している。山の日記念行事として夏山フェスタを開催し、労山のパンフレットを配っている。一般公募と会員向けに「体力年齢測定会」「E ペース登山」「健康と登山講演会」を開催し、いずれも会員参加がメインとなっているが、福岡県連が毎年積み重ね24年が経過した。救助隊の世代交代ができていない。搬出よりも捜索の方を重点的に、訓練を実施している。

■長崎県連/西川覚史・評議員

コロナで生活が変わり、現役で働く世代としては山に登る余裕がなく、日々の生活で必死の状態。戦争もあるし、物価も上がり、今後に不安を感じる。長崎も平均年齢が70 歳以上で、30~40 歳代の会員は10 人ほど。技術継承ができていない。入会しても、裏方の仕事をしつづけるので、悪戦苦闘している。長崎は被爆地であり、平和が活動の基本だと思っている。平和だから登山、サッカー、バスケットもできる。地元で里山が荒れている。私の生業はこんにやく屋だが、高齢の農家が農業では食べていけず、孫にお金を残したいから農地を風力発電に売る。風力発電で山が荒れて、イノシシが増えて農作物を荒らす、という悪循環が生じている。コロナで世の中のシステムが変わった。ロシアの戦争で、日本が海外に依存してきたことが露呈している。次の世代に何を残せるか、子どもたちに繋げるために活動を継続していく。

★評議会への参加と資料の提供をありがとうございました。 来年は全国連盟の総会を予定しています(2024 年2月 17・18 日/東京府中市)。全国連盟の活動総括・方針の他に、地方連盟でのとりくみも報告いただき交流します。よろしくお願いします。

部局・専門委員会の活動

■遭難対策部

技術向上と不注意による事故の減少を

4月5日の遭難対策部会での事故一報は、15件15名。積雪期や山スキー、冬季登攀が9件発生。この内8件が下山時の転倒である。バランスを崩す、立木に衝突する山スキーの事例が報告された。積雪期では、車道の凍結での転倒、アイゼンを引っかけての転倒雪を踏み抜いた事例が報告された。山スキーでは、技術を向上させ転ばないスキーを実践して頂きたい。積雪期の歩行は、凍結している事を前提に細心の注意を心掛けて頂きたい。特に入山時や下山時の駐車場や車道での注意が必要です。

(遭難対策部長・石川昌)

※登山時報・春号では、遭難対策部による2022年事故一報に基づく事故分析を掲載しています。

■労山基金運営委員会

山行では、すべての会員が計画書を提出しよう

最近の基金審査で、事故者が基金に加入する会で山行管理がされていないケースがあった。これは、事故者が二つの会に所属し、労山基金加入会に計画書を提出していなかったためである。労山基金規定では、細則2山行規定で、①団体は、会員の登山活動を事前に管理する、②事前管理には、個別の山行管理を含む、③個別の山行管理は、所属団体の定めにより山行計画書の提出によって行う、としている。登山の難易度を自己判断して、軽い山行だからと、所属会に連絡せずに山行をしていないだろうか？もう一度、すべての会員が考えてみようではないか。運営委員会では、会員の為の基金制度だから、交付に前向きに検討するが、規定という基準がある。

(労山基金運営委員 大澤辰雄)

3月1日から3月31日までに届いた事故一報

事故発生日	地方連盟	年齢	性別	山名	山行形態	事故原因	傷病名	
1	2.26 東京	50	女	乙妻山	山スキー	転倒	滑走中に転倒した。	前十字靭帯断絶
2	2.19 神奈川	74	男	北八ヶ岳	積雪期	転倒	バス停に向かって車道を歩いている時、凍結した所で転倒した。	骨盤骨折
3	2.27 岡山	79	女	栄福寺	無雪期	転倒	車道で対向車を避ける為路肩により躓いて転倒した。	顔面及び左手擦過傷
4	3.12 岡山	49	男	貝殻山	無雪期	転倒	足を滑らせ尻もちをついて転倒した。	左膝側副靭帯損傷
5	3.3 香川	65	女	吉舎町	無雪期	滑落	傾斜面で花を撮影して、3m程滑落した。	膝骨折
6	3.19 道央	42	男	塩谷丸山	積雪期	転倒	下山時、下りの斜面で小型ソリでアイゼンを引っかけて転倒した。	左足首骨折
7	3.19 宮城	66	女	森吉山	山スキー	転倒	滑走中、立木に激突し転倒した。	左膝打撲
8	3.19 埼玉	76	女	三浦海岸	無雪期	転倒	シーサイドハイキングで段差のある所で躓き転倒した。	左手首骨折
9	3.18 道央	61	女	奥夕日岳	積雪期	転倒	下山時、雪を踏み抜きザックの重さで転倒した。	靭帯損傷
10	3.11 兵庫	74	男	蓬萊狭	登攀	転落	正規ルートにトラバースして入る所で2m程転落した。	脊椎圧迫骨折
11	3.25 道央	47	女	上ホロカメツトク山	積雪期	転倒	急斜面を下降中バランスを崩して転倒した。	右手小指剥離骨折
12	3.11 石川	70	男	樽池	山スキー	転落	トラバース中、スキーの先が傾斜に刺さりバランスを崩して転落した。	左足脛間肉離れ
13	3.12 石川	68	男	太田の大トチノキ	山スキー	転倒	滑走中、転倒し膝を捻った。	左膝関節挫傷
14	3.26 道央	26	男	上ホロカメツトク山	冬季登攀	滑落	下降中、1550m付近で休憩中に足元から滑落した。	右足靭帯断絶
15	3.30 香川	68	男	王頭山	無雪期	転倒	下りで足を滑らせ転倒した。	左足腓骨骨折

事故一報の受領順で掲載

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	合計
男性	1	0	2	0	2	3	0	0	8
女性	0	0	1	1	3	2	0	0	7
合計	1	0	3	1	5	5	0	0	15

	無雪期	積雪期	氷瀑	沢登り	登攀	海外登山	人工壁	訓練	合計
男性	2	2	0	2	1	1	0	0	8
女性	3	2	0	2	0	0	0	0	7
合計	5	4	0	4	1	1	0	0	15

	墜落	転落	滑落	転倒	体勢	凍傷	病気	その他	合計
男性	0	2	1	5	0	0	0	0	8
女性	0	0	1	6	0	0	0	0	7
合計	0	2	2	11	0	0	0	0	15

	骨折	脱臼	断裂	打撲	裂傷	心疾患	損傷	その他	合計
男性	4	0	1	0	0	0	1	2	8
女性	3	0	1	1	0	0	1	1	7
合計	7	0	2	1	0	0	2	3	15

労山基金 2023年3月交付認定の一覧

No.	地方連盟	口数等	事故発生日時	山域・山名・場所	山行形態	事故原因	事故状況	傷病名
1	東京都	40台女性 7口	2022/03/20 15時30分頃	西上州・妙義 吾妻耶山 スキー場	山スキー	衝突	バックカントリースキー練習中、上部からスノーボーダーが暴走してきて接触、転倒。	腰部挫傷、脚部打撲、大腿部麻痺
2	東京都	40台男性 5口	2022/04/17 08時30分頃	谷川連峰 谷川岳 土合山の家付近	訓練	雪上訓練中の事故	滑落停止の練習中、ピッケルを使わずにうつ伏せになり頭から滑ったのち、腕を頭上で回して体の向きを180°回すという練習の際、肩に過剰な外力が加わった模様。起き上がった時右肩に違和感を覚え肩関節の整復を試み、なんとか外れた肩は戻った。	右肩関節脱臼
3	東京都	40台女性 5口	2022/04/09 15時00分頃	人工壁	人工壁	転・滑落	リードクライミング中にグランドフォールして受傷。7ピン中6ピン目をクリップ後、付近のホールドを触り落下した。その際ビレイヤーが一瞬クライマーから目を離しており確保が間に合わず木の椅子に背中から落下し床に転がった。20分程で救急車が到着、約1時間後搬送され入院。15日に退院。	外傷性血気胸 肺挫傷 左第8肋骨骨折 胸椎横突起骨折
4	岡山県	60台女性 5口	2022/05/29 15時05分頃	中国地方 高岳山頂からひらき橋へ下 る途中	無雪期登山	転倒	聖山から高岳へ縦走し、高岳から下山途中に木の根に躓き転倒して足首を捻った。アイシングジェルとテーピングにて応急処置を行い、自力で下山した。翌日、病院で診察を受けたところ、足首の骨折と判明、そのまま入院となった。	骨折
5	東京都	60台男性 10口	2022/07/24 11時20分頃	奥多摩 水根沢	沢登り	転・滑落	左岸のざれた場所を三点確保を意識しながらトラバース中、左手を延ばしたところ左足のざれ場が崩れ、5~6m位滑落して川の中に落ちる。その時に右胸と右足大腿骨の外側を打撲する。	打撲
6	愛知県	60台女性 5口	2022/09/04 11時30分頃	福井県 岩籠山 インディアン平原からの下 り	無雪期登山	足をついた 時に違和感 が発生	下山開始後30分程度した時に発生。右足を着いた時にグキッと音がした（転倒なし）ので捻挫かと思い、そのまま慎重に歩いて下山した。帰宅途中、氷で冷却した。帰宅後、救急外来を受診して骨折と診断された。	右足首腓骨の亀裂骨折 右足関節外果骨折
7	群馬県	70台女性 3口	2022/09/04 12時30分頃	関東・甲信越 三国峠・三国山 三国山から三国峠へ下る一 般登山道（木製階段を下降 中）	無雪期登山	転倒	やや朽ちた木製階段が敷設された登山道を下降中、やや濡れていた階段面で足を滑らせて転倒（尻もちをついた）した際に左手をつき、左手首を負傷した。	左橈骨遠位端骨折
8	埼玉県	70台男性 10口	2022/09/30 12時36分頃	奥武蔵・秩父 笠山 林道（笠山峠 ～ 笠山神 社駐車場）	無雪期登山	転倒	笠山峠から笠山神社に向かう林道を下山中、舗装道路の段差に気がつかず転倒。頭部から突っ込む形で転倒。頭部を上にし横になり止血、安静後、手足のしびれのないことを確認し車へ移動。	頭部外傷 頭部切創 網膜裂孔
9	東京都	60台女性 3口	2022/10/04 09時20分頃	奥多摩・高尾・陣馬 八王子城址 八王子神社への登山道	無雪期登山	転倒	八王子城址から北高尾山稜・夕焼けの里への山行中、八王子神社の手前の登山道で転倒した。転倒の直接原因は本人は定かではないとのことだが、右斜め後に仰向けに転倒し、その際右手をついた。痛みを感じたが湿布で応急手当をしたことによって痛みは和らいだので山行を継続した。下山・帰宅後、病院での診察の結果、「橈骨遠位端骨折」と診断された。	右橈骨遠位端骨折
10	兵庫県	70台男性 5口	2022/10/03 12時00分頃	妙高・頸城・戸隠 雨飾山 笹平から300m下った所	無雪期登山	転倒	雨飾山下山中、笹平を300m下った所で石に躓き転倒した。転倒箇所は長い岩場が一端途切れた所だった。左足のくるぶしに違和感を覚え、湿布とテーピングを施して下山を続行し、このまま進行しても下山口に明るい内に着くのは無理と断念し救助ヘリを要請した。	左足腓骨骨折 （踝付近）
11	福岡県	60台女性 5口	2022/10/05 15時00分頃	南ア 光岳 登山口付近	無雪期登山	転倒	下山直前、登山口手前で、滑りかけたときに右手をつき、骨折した。	右手首複雑骨折
12	岡山県	60台女性 1口	2022/10/23 11時30分頃	岡山県 熊山 南山崖 天空岩付近	無雪期登山	転・滑落	パーティーの4番目を歩いていて、岩場をトラバースする際にバランスを崩して土の斜面を約4メートル滑落、右手小指を木にぶつけた為、痛みがあるのでテーピングで応急処置をした。自宅に帰宅後、病院で検査をしたところ、右手小指の骨折と判明した。ロッククライミングではなく、岩を横切った時にバランスを崩した。	右手小指骨折
13	岡山県	70台女性 5口	2022/10/11 07時30分頃	尾瀬 上田代から横田代への途中	無雪期登山	転倒	御池登山口より出発して1時間余りの所で、ぬれている木道の階段（4~5段）で右足を乗せて滑りそうになり左足で止めようとしたが、その足も滑り、半回転して尻餅をついた。少し休みそのまま歩けたので予定通り行動した。帰宅して病院に行き圧迫骨折と診断された。	脊髄圧迫骨折
14	東京都	70台女性 3口	2022/10/26 14時30分頃	那須・日光・足尾・常陸 茶臼岳・朝日岳 峰の茶屋跡から県営駐車場 への途中	無雪期登山	転倒	那須茶臼岳から峰の茶屋跡を通り、県営駐車場への下山中、小石に躓いて右前方転倒し、右頭部・右肋骨・右手首を打撲。	肋骨骨折

組織内資料 複写・転載禁止

15	東京都	60台男性 5口	2022/11/05 14時40分頃	奥多摩 三頭山 ヌカザス山～入小澤ノ峰方面の下り坂	無雪期登山	転倒	濡れ落ち葉に敷き詰められた緩い下り坂で足を滑らせ転倒した際、右手首を地面につき骨折した。	右橈骨遠位端骨折
16	岡山県	70台女性 3口	2022/10/26 10時00分頃	岡山県 熊山 段谷コースを3分の1くらい上ったところ	無雪期登山	転倒	木に頭があたりバランスを崩し、尻餅をついた時、右足首を捻った。	右脛骨骨幹部骨折 右足関節外果骨折
17	佐賀県	70台男性 3口	2022/10/26 14時00分頃	佐賀県 天山 七曲西付近の登山道	登山道整備中	その他	登山中、登山道路脇の障害物を撤去しようとした際、(天山の七曲周辺・西側の草刈り中) 切ろうとした脇にあった木の小枝が反動で跳ねて右目に当たった。	右目網膜裂孔 右目網膜剥離
18	石川県	60台女性 3口	2022/11/12 08時30分頃	中部地方その他 大恐山 登山口	無雪期登山	転倒	車を降りてから登山口への舗装された坂を下りるとき、枯れ葉や小枝を踏んで転倒。右肩、右腰、頭を強打。	右腰部打撲傷 右鎖骨骨折
19	大阪府	20台男性 10口	2022/11/19 09時00分頃	海外 ロブチェピーク	海外登山	高度障害	ネパール、ロブチェピークに登山中に高度障害で麓の村(ディンボチエ)まで自力下山。ルクラまで自力で歩行が困難のためレスキューヘリを使用、翌日カトマンズの病院で2日間の入院、帰国後日本の病院で検査時に当時肺水腫だった事が判明。	肺水腫・肺炎
20	埼玉県	50台女性 5口	2022/12/20 10時00分頃	秩父 大机山 札所8番西善寺を過ぎた急斜面	無雪期登山	転・滑落	横瀬駅から登山開始し札所8番西善寺を過ぎ暫く歩いている急斜面で枯れ葉に滑り谷川に40m程滑落した。同行者が先頭を歩き滑る音を聞き振り向くと事故者の姿が無く谷川に滑り落ちていた。頭と顔から出血し意識はあったが警察と消防に救助を要請し担架により下山し病院に搬送。	打撲 擦り傷
21	東京都	70台男性 5口	2022/12/24 16時00分頃	人工壁	人工壁	転・滑落	110度の傾斜の人工壁をリード中、6ピンあたり高さ7メートルくらいから落ち、グラウンドした。最終カラビナにロープをかけていなかった。	背骨含め7か所骨折
22	静岡県	70台男性 3口	2022/12/18 09時30分頃	南ア その他 ピク石(笹川コース) 山頂の少し手前の斜面	無雪期登山	転倒	山頂の少し手前のゆるやか斜面で転倒。	右アキレス腱部分断裂・頭部打撲
23	東京都	40台女性 5口	2023/01/09 10時56分頃	南ア 赤石・聖・光岳 上河内岳	積雪期登山	転倒	便が島から易老渡への林道を下山途中、易老渡から約300m手前付近。凍結した場所で足が滑り転倒。アイゼン是不使用。冬用ブーツを着用。	右腓骨遠位部骨折
24	岐阜県	30台女性 5口	2023/01/21 21時00分頃	八ヶ岳連峰 赤岳 赤岳天望荘	積雪期登山	病気	21日朝、美濃戸口より入山し、南沢、行者小屋、文三郎尾根、赤岳を経由し、15時50分ごろ赤岳天望荘に到着。夕食時、事故者が悪寒を感じ、検温37.4℃、その後38.5℃の発熱があり、悪寒、倦怠感が増悪。山荘代表者のアドバイスを受け、翌日の地蔵尾根の下降や、事故者の状態等を考慮し、21時10分に警察に救助要請。22日朝9時から、警察山岳遭難救助隊と天望荘にて合流し、支援を受けつつ地蔵尾根、北沢を歩いた。北沢の途中、堰堤広場から美濃戸口まで車に乗せていただき、11時ごろ美濃戸口に下山。翌日も発熱あり受診。(コロナ感染症 陰性)	発熱 衰弱 急性腎盂腎炎
25	岡山県	60台男性 5口	2023/01/22 12時08分頃	岡山県 観音寺山 スケ岩から東観音寺山分岐1の間	無雪期登山	転倒	小石に滑って転倒した拍子に立木が折れ、折れた木が右目の下、まぶた辺りに刺さった。圧迫止血とカットパンで応急処置をした。傷が深いようだったので、水で傷を流し、テープで固定、ガーゼで保護した。SLともう一人がついて何とか下山し、14:22頃、医療機関を受診した。	挫滅創
26	兵庫県	50台男性 3口	2023/01/22 14時50分頃	兵庫県 烏帽子岩 「ごめんやっしゃ」 (5.9)	フリークライミング	転・滑落	最終ピンにクリップした後にホールドが保持できずに落ちその際にロープをつかみロープの摩擦で左手親指付け根を切ってしまう。	左手親指付け根の裂傷(11針縫合)
27	石川県	70台男性 2口	2023/02/05 08時30分頃	石川県 一里野スキー場 Gondola山頂駅付近	山スキー	病気	一里野スキー場の Gondola を利用し、山頂駅から加賀禪定道を辿りしかり場分岐を経て檜新宮側の尾根を下り、ハラヤ谷を滑走予定。8:20頃歩き始めて300mほど行ったところで事故者がついて来ていないことに気づき、戻って探しに行ったところ倒れているのを発見。救急措置を行い救急車・ドクターヘリで病院へ搬送されるも死亡が確認される。	虚血性心疾患・死亡
28	広島県	30台女性 5口	2023/02/26 17時00分頃	広島県 十方山 瀬戸滝南側の尾根の降り口付近	無雪期登山	転・滑落	一般ルートでは無い登山道を下降し、残り60m程度の高度差となったあたりで、足場が悪くなったのでFIXロープを張り渡らせたが足がスリップし手が離れて滑落しました。	転落死亡

全国連盟の活動

2023年4月

4 登山と山岳文化の教養講座(春)、同日ホームページ委員会、5 遭難対策部会、6 山岳安全対策ネットワーク協議会・第1回会議、11 自然保護委員会、13 組織部会、15 山筋ゴーゴー体操講習会@島根、16 長崎県勤労者山岳連盟総会・浦添会長が来賓として出席、17 ハイキング委員会、18 三役会議、20 機関誌・紙編集委員会、22 山筋ゴーゴー体操サポーター養成講座@岩手、全国雪崩講師会議、27 第14回理事会

2023年5月の予定：9 自然保護委員会、登山と山岳文化の教養講座、10 遭難対策部会、11 組織部会、12 財政部会、16 三役会・新スポ連定期協議、17 ココヘリ労山捜索隊訓練、18 共済懇話会、23 ホームページ委員会、労山基金運営委員会、25 理事会、29 ハイキング委員会、31 山岳安全対策ネットワーク協議会

2023 年度の安全対策基金「岩場ゲレンデ環境整備資金援助」と「登山道整備補助金」の応募は 5 月末が締切です。詳細は JWAF ホームページ>申請>安全対策基金に掲載している申請書をご覧ください。

★ご案内★

詳細は 4 月末に地方連盟へ配信する要綱をご覧ください

■2024 年 JWAF カレンダー・写真の募集を開始

今回も労山会員の山岳写真でカレンダーをつくります。全国からのご応募をお待ちしています！

- 応募資格は労山会員。一人 5 点まで
- 期日：6 月 26 日(月)必着
- 募集要項は HP や応募フォームに掲載→



■6 月 17・18 日「全国自然保護担当者会議」

地方連盟の自然保護に係る活動報告を通して、全国の問題点や課題を共有し、今後の取り組みを考えます。

- 日時：6 月 17 日(土)13 時～18 日(日)15 時※予定
- 会場：長瀬荘(民宿/埼玉県秩父郡長瀬町)

■6 月 28 日、7 月 5 日「労山基金の説明会」

1) 労山基金【担当者向け】オンライン実務説明会

- 日時：6 月 28 日(水)19 時～20 時半
- 参加対象：会・地方連盟の基金担当者、役員
- 参加方法：ZOOM

2) 労山基金【一般会員向け】オンライン説明会

- 日時：7 月 5 日(水)19 時～20 時半
- 参加対象：労山会員
- 参加方法：ZOOM。東京都連盟の方は全国連盟会議室でも参加いただけます

■7 月 8・9 日「全国救助技術交流集会」

組織レスキューについて、デモンストレーションと交流を行います。

- 日時：7 月 8 日(土)13 時～9 日(日)12 時半
- 会場：北海道小樽市・おたる自然の村・おこばち山荘
- 参加費：6,000 円(一泊二食・風呂あり)
- 参加対象：救助隊員及び救助に携わる可能性のある会員。定員 50 名(先着順)

日本は核兵器禁止条約に参加を!

原水爆禁止 国民平和 大行進 2023

なくそう核兵器

ノーモア ヒロシマ

ノーモア ナガサキ

ストップ! 大増税

いのちとくらしを守ろう

原発ゼロ

9 条改憲 NO!

最新情報は Web で 平和行進 検索 www.antiatom.org

フェイスブック 平和行進 facebook.com/heiwakoshin

1958年から毎年、全国と広島・長崎をつないで歩いています。